医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	英語IA
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		30	70								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	c	c								

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	医学英語IB
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100		70								30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	c								c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学英語IIA
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計			100								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C		a								

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	医学英語IIB（Gallagher）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100		30				70					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	b				a					

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学英語IIB（Fairweather）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70				30					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	a				b					

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	医学英語III
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100			50			50					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C		a			a					

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	自然科学入門（物理系）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90	10								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a	b								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	自然科学入門（化学系）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100		40			40					20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	a			a					b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	a			a					b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	a			a					b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	a			a					b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C	a			a					b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	a			a					b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C	a			a					b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a			a					b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a			a					b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C	a			a					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a			a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a			a					b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	a			a					b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	a			a					b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a			a					b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	a			a					b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	自然科学入門（生物系）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 小テスト・manaba
				評価パーセンテージ合計 100		80									20
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A	a									b
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	基礎生物学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	a									
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医用物理学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		40	20		40						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C	a	c		b						
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a	c		b						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C	b	c		a						
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	b	c		a						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	c	c		a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	c	c		a						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	統計学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		60			30					10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a			b					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	情報リテラシー
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100		50	10		10				30		
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	基礎化学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		50	10		10					30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a	c		c					b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a	c		c					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	心理学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	c									
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	b									
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	b									
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	c									
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	b									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C	c									
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	c									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	発生遺伝学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	b									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	分子生物学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90	10								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	a	b								
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	a	b								
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	a	b								
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	a	b								
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C	a	b								
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	a	b								
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C	a	b								
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a	b								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a	b								
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a	b								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a	b								
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a	b								
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a	b								
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a	b								
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a	b								
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C	a	b								
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C	a	b								
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a	b								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a	b								
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a	b								
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B	a	b								
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a	b								
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a	b								
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	a	b								
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D	a	b								
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D	a	b								
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	a	b								

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	基礎生物学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			25		25					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C		b		a					c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C		b		a					c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C		b		a					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C		b		a					c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医用物理学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					100						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	情報科学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					70					30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	基礎化学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				a					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				a					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				a					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C				a					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				a					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				a					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C				a					a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				a					a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				a					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				a					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				a					a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a					a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a					a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a					a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				a					a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				a					a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	心理・コミュニケーション実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					80	10				10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				b	a				b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				c	a				b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				c	a				b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				c	b				b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				c	c				c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				b	b				c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				a	c				c	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				a	c				c	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a	c				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				b	c				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	データサイエンス
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					70					30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	数学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100		60			30					10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a			b					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	初年次セミナー
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			20		60					20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D									b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C									b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C		b								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と思想（哲学基礎）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			70		30						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と思想（近代社会の理論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		60	40								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と思想（人間学）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			70		30						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と文学（古典評論Ⅰ）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			70		30						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と文学（古典評論Ⅱ）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			70		30						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と文学（文学入門）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			50		50						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と文学（批評理論入門）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他
				評価パーセンテージ合計		85			15						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	言葉と文化（言語文化概論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			100								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	言葉と文化（現代言語学概論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計			50		50						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	社会と文化（教育学）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		45	45		10						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	a	a		b						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	社会と文化（人間形成史論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100		40	40							20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	社会と文化（現代文化論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70	30								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	社会と文化（比較文化論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他
				評価パーセンテージ合計 100		85			15						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	社会と文化（世相史）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			50		50						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	現代社会論（地域社会論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			50		50						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	現代社会論（社会福祉論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a									
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	現代社会論（現代社会の論点）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100			25			50				25	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と行動（法学）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	a									
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	a									
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と行動（経済学）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と行動（社会学の考え方）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			30		70						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と行動（感情心理学）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		60	40								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	c	c								
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	c	c								
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	c	c								
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	b	c								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	b	c								
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	人間と行動（青年期の心理と行動）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		60	40								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	c	c								
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	c	c								
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	c	c								
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	b	c								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	b	c								
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	科学と技術（社会の中の物理I）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					100						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	科学と技術（社会の中の物理Ⅱ）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			10		90						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C		b		a						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	科学と技術（数学概論）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					70					30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	科学と技術（科学論文の読み方・書き方
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100			25		25					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C		a		a					c	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C		a		a					c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C		a		a					c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C		a		a					c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	科学と技術（食と健康）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計			30		70						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C		a		b						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C		b		b						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C		b		b						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C		b		b						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C		b		a						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C		c		c						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C		c		c						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C		c		b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C		c		a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C		c		a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C		c		c						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	手話入門（基本編）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			60		40						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C		a		b						
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C		a		b						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C		a								
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	手話入門（実践編：医療手話）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			30		70						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C		b		a						
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C		b		a						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C		b		a						
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	ドイツ語講読
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		50	30							20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	フランス語講読
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		50	25							25	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	ロシア語講読
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（授業内での練習問題）
				評価パーセンテージ合計		50	30		10						10
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	中国語講読
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他
				評価パーセンテージ合計		50	40							10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	早期体験実習I
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計			33.3		33.3	33.3					
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C		b		b	a					
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C		b		b	a					
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C		b		b	a					
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C		b		b	b					
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C		b		b	a					
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C		b		b	b					
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C		b		b	b					
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	早期体験実習II
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					30	20		10		40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C				b	b		c		c	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				a	a		c		c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				a	a		c		c	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				a	a		c		c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				a	a		c		c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	地域医療学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			30		60	10					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C		c		b	a					
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C		c		b	a					
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C		c		b	a					
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C		c		b	a					
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C		b		b	b					
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C		b		b	b					
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C		b		b	b					
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C		b		a	c					
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C		b		a	c					
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C		b		a	a					
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C		b		a	c					
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学チュートリアルⅠ
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（ルーブリック評価）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50						50
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				c						c
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				c						c
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				c						c
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C				c						c
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				c						c
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				c						c
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				c						c
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				c						c
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C				c						c
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				c						c
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				c						c
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				c						c
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				c						c
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				c						c
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				c						c
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C				c						c
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				c						c
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				c						c
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C				c						c
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				c						c
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				c						c
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				c						c
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				c						c
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				c						c
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				c						c
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				c						c
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				c						c
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				c						c
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c						c
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				c						c
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				c						c
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				c						c
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				c						c
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				c						c
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				c						c
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				c						c
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				c						c

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学チュートリアルⅡ
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90					10				
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A	a					a				
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	b					b				
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	b					b				
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	c					c				
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	c					c				
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	b					b				
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	c					c				
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	チュートリアルⅢ
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		50	50								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B		a								
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a	a								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a	a								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a	a								
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a	a								
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a	a								
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B	a	a								
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療社会学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			40		60						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C		b		a						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C		b		a						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療社会学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					30			20	20	30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				b			a	a	b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				a			b	b	b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療概論Ⅰ
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他の場合評価形式を評価
				評価パーセンテージ合計											
				100			10		80						10
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B		b		a						a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C		b		a						a
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B		b		a						a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B		b		a						a
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C		b		a						a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C		b		a						a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C		b		a						a
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C		b		a						a
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C		b		a						a
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療概論II
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		60				30				10	
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	a				b					
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	a				b					
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B	a				b					
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B	a				b					
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B	a				b					
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B	a				b					
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a				b					
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B	a				c					
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a				c					
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療概論III
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		55	35			10					
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B					a					
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D					a					
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B		b			a					
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B		b								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a	b								
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B		a								
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療概論Ⅳ
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		60	40								
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	a	a								
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	b	b								
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B	c	c								
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	b	b								
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	b	b								
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B	a	a								
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B	c	c								
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B	b	b								
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B	a	a								
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療情報学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70								30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	a								b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a								b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A	a								b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	a								b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A	a								b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A	a								b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医療安全
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		50	30		20						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	b	b		b						
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	b	b		b						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B	b	b		b						
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B	a	a		a						
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B	a	a		a						
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B	a	a		a						
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	b	b		b						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	b	b		b						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	b	b		b						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	b	b		b						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	b	b		b						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	b	b		b						
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	b	b		b						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B	a	a		a						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B	b	b		b						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B	b	b		b						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B	b	b		b						
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B	b	b		b						
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B	a	a		a						
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（解剖学講座（機能形態学分野）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						100					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					a					
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C					b					
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(解剖学講座(顕微解剖学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						30				70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C					c				c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					a				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					c				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					c				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					b				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					c				c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（生理学講座（自律機能分野）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					a				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					a				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					a				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C					a				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					a				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（生理学講座（神経機能分野）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A									a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A					a					
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					a					
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a					
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A									a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A									a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B									a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(生化学講座)
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100				20		40				40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C			b		b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C			b		b				b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C			a		a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C			a		a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C			b		b				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C			b		b				b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C			b		b				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C			a		a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C			b		b				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C			a		a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C			b		b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（薬理学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					a				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					b				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(病理学講座(腫瘍病理分野
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						100					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					a					
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（病理学講座（免疫病理学
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						100					
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				a						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(感染症学講座(微生物学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						30		10	10	50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C								b	a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C								b	a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A					a		c		b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A					a		c		b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B									b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					a				b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C									a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C									a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A					a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					a					
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A					a					
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A					a				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A					a				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C									a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A					a				b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A					a				b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B					a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B					a				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					a		c		b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A							c	b	a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B							c	b	a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a		c		b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a		c		b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a		c		b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A							c	b	a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C									a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A					a		c		b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(感染症学講座(寄生虫学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100										100	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C									a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C									a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C									a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C									a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C									a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（社会医学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a					
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					a					
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B					a					
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					a					
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					a					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（法医学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100					30				70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					b				a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（先端医科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		30			30	40					
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	b			b	a					
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	b			b	a					
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	b			b	a					
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	b			b	a					
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	b			b	a					
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	b			b	a					
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	b			b	a					
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	b			b	a					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	b			b	a					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	b			b	a					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	b			b	a					
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	b			b	a					
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	b			b	a					

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(内科学講座(循環器・腎臓)(呼吸器・脳神経))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						30			20	50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					b			c	a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C					b			c	a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					b			c	a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					b			c	a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					b			c	a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					b			c	a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					b			c	a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					b			c	a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C					b			c	a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					b			c	a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					b			c	a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					b			c	a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					b			c	a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（内科学講座（内分泌・代謝・膠原病内科学分野）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						70				30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					a				b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C					a				b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C					a				b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					a				b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C					a				b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					a				b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					a				b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A					a				b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					a				b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A					a				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A					a				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					a				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					a				b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B					a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B					a				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B					a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C					a				b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					a				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					a				b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C					a				b	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C					a				b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B					a				b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(内科学講座(消化管内科学分野)
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100					50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C									c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C					b				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					b				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					c				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					c				c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（精神医学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					a				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C					a				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（小児科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B					b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a				b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					a				b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					a				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					a				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C					a				b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C					a				b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A					a				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C					a				b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C					a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					a				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					a				b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					a				b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					a				b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(外科学講座(血管･呼吸･腫瘍病態外科学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						40				60	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(外科学講座(心臓大血管外科学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						30				70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C					b				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C					b				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(外科学講座(肝胆膵・移植外科学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						80			10	10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					a			c	b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A					a			c	b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A					a			c	b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A					a			c	b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A					a			c	b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					a			c	b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					a			c	b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					a			c	b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					a			c	b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					a			c	b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a			c	b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					a			c	b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					a			c	b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					a			c	b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D					a			c	b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C					a			c	b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					a			c	b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					a			c	b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C					a			c	b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C					a			c	b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B					a			c	b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B					a			c	b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C					a			c	b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					a			c	b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D					a			c	b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C					a			c	b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B					a			c	b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a			c	b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a			c	b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a			c	b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					a			c	b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					a			c	b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					a			c	b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C					a			c	b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D					a			c	b	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D					a			c	b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B					a			c	b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(外科学講座(消化管外科学分野))
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席日数）
				評価パーセンテージ合計											
				100						30				30	40
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C					a				a	a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C					a				a	a
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C					a				a	a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					a				a	a
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C					a				a	a
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					a				a	a
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C					a				a	a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					a				a	a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					a				a	a
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					a				a	a
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					a				a	a
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					a				a	a
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C					a				a	a
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C					a				a	a
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C					a				a	a
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C					a				a	a
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C					a				a	a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C					a				a	a
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C					a				a	a
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C					a				a	a
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C					a				a	a
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C					a				a	a
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C					a				a	a
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C					a				a	a
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C					a				a	a
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C					a				a	a
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C					a				a	a
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a				a	a
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a				a	a
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				a	a
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					a				a	a
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C					a				a	a
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					a				a	a
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C					a				a	a
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C					a				a	a
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C					a				a	a
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					a				a	a

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（整形外科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100						20		5	5	70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					a		c	c	a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C					c		c	c	c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C					c		c	c	c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					c		c	c	c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B					b		c	c	b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					b		c	c	b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					b		c	c	b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					c		c	c	c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					c		c	c	c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					c		c	c	c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a		c	c	a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					b		c	c	b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C					a		c	c	a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C					b		c	c	b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					a		c	c	a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					a		c	c	a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B					a		c	c	a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					a		c	c	a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C					a		c	c	a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					a		c	c	a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（皮膚科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						10				90	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C					b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C					b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C					b				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A					b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A					b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A					b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C					b				a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C					b				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C					b				a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B					a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（腎泌尿器外科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（研究検討会）	11 その他（研究結果）
				評価パーセンテージ合計 100						30				30	20	20
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					c				a	b	b
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D											
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					c				b	a	a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C					c				b	a	a
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D											
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D											
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D											
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					c				c	b	b
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D											
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					c				c	b	b
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D											
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D											
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D											
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D											
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D											
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D											
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D											
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D											
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D											
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D											
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D											
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D											
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D											
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D											
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D											
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D											
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D											
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					b				c	a	a
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					b				c	a	a
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					b				c	a	a
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					b				c	b	b
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D											
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D											
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D											
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D											
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D											
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D											

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(眼科学講座)
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100						90				10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					c				c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					c				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					c				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					c				c	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					c				c	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C					c				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C					c				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					a				c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C					a				c	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論　（耳鼻咽喉科･頭頸部外科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100						20		20	20	40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B							b		a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B							b		a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					a			c	b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					a					
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					a					
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C					a				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					a				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A					a			b		

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（産婦人科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100						20				80	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					c				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					c				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A					a				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					b				a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A					c				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（放射線医学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席状況）
				評価パーセンテージ合計											
				100						20				40	40
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					c				a	b
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					c				a	b
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					c				a	b
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（麻酔・蘇生学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100									100	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B									c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B									c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C									c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C									c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C									c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B									a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C									c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C									c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C									c	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B									c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C									c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C									c	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A									a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A									a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A									a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A									a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C									c	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B									b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（脳神経外科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						30				70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B					b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B					b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B					b				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B					b				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（歯科口腔外科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						20				80	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C					b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C					b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（救急医学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100				20		60				20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			a		a					
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			a		a					
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A			b		a					
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A			b		b					
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			a		a					
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			a		a					
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C			b		b					
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			a		a					
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C			c							
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C			c							
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C			c							
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（心理学）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100						90				10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C					a				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C					a				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C					a				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					a				c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（化学）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100					30				70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B					b				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					b				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					b				a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B					b				a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B					b				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B					b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B					b				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B					b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（先進医工学研究センター）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						80				20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					a				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					a				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					a				b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論（リハビリテーション科）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席・態度・知識など）
				評価パーセンテージ合計 100											100
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C										a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C										a
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C										a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C										b
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C										a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										c
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										b
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C										c
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C										c
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C										c
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習序論（形成・再建外科学講座）
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				40	30				30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				c	c				c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				c	c				c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				c	c				c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a	a				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				b	b				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A				b	b				b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A				a	a				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A				a	a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A				a	a				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A				a	a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A				a	a				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A				a	a				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				c	c				c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	医学研究特論(薬剤部)
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					a				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B					a				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					a				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					a				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					c				c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C					c				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					c				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C					c				c	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C					c				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C					c				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C					c				c	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C					c				c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C					c				c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B					a				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					a				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					a				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	選択必修（生体構造機能蛋白・病態解析コース）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				a					c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				a					c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				b					c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a					c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	選択必修コース（救急・プライマリケアコース）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A				a						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A				a						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a						
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C				c						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				c						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D				a						
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D				a						
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D				a						
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	選択必修コース（臨床薬理学コース）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				a					c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				a					c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a					c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				b					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				b					c	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	選択必修（糖尿病・内分泌Up・Dateコース）
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a					b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A				a					b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A				a					b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				a					b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A				a					b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B				a					b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a					b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a					b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				a					b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				a					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				a					b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				a					b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a					b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				a					b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				a					b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				a					b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	症候学
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70	30								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	c	c								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	b	b								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	c	c								
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a	a								
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C	c	c								
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	c	c								
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	機能形態基礎医学Ⅰ
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	c									
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	b									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	c									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	c									
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	c									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	c									

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	機能形態基礎医学Ⅱ
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		95	5								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a	b								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a	b								
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a	b								
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a	b								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a	b								
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	a	b								
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	a	b								
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	生化学I
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		80	20								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a	b								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a	b								
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a	b								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	b	c								
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a	b								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	b	b								
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	生化学Ⅱ
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		80	20								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a	b								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a	b								
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a	b								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	b	c								
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a	b								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	b	b								
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	免疫学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	c									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	形態学実習Ⅰ
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		45			55						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	c			c						
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	b			b						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	b			b						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	c			c						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	c			c						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	c			c						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	c			c						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	c			c						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	c			c						

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	形態学実習Ⅱ
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		40	20							40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a	a							b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C									c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C									c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	生化学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					40	20				40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				c	c				c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				a	a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C				a	a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				b	b				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				c	c				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				b	a				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c	c				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a	a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				b	b				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	病理学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	c									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	c									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	c									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	c									
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	微生物学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70								30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	a									
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A	b								a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a								b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B	a									
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A									a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B	a									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C	a									
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	a								b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C	a								b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C	a									
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B	a									
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A	a								b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A	a								b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B	a									
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B	a									
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a									
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B	a									
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B	a									
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B	a									

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	寄生虫学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70								30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a								b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	a								b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a								b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a								b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a								b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	薬理学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100	80								20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a								c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a								c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a								c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	b								c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	c									
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	基礎医学特論
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					100						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				a						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	衛生・公衆衛生
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90								10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	a									
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	a									
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	a									
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	a									
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C	a									
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B	a									
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C	a									
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B	a									
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B	a									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B	a									
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B	a									
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B	a									
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C	a									
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	a									

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	法医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A	a									
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	a									
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B	a									
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A	a									
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A	a									
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A	a									
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B	a									
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A	a									
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a									
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B	a									
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A	a									
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B	a									
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B	a									
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A	a									
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	a									
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B	a									
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B	a									
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	生理学実習・演習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100			80							20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C		a								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C		a								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C		a								
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C									a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C		a								
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C		a								
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C		a								
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C		a								
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	薬理学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					60	4				36	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				a	c				c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				a	c				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				a	c					
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a	c				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a	c				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				a	c					
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	微生物学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					76					24	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A				b					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				a						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C				a						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a						
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				a						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				b					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				a						
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A				a					b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a					b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C									a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C									a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A				a						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A									a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				a					b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	寄生虫学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（スケッチ）
				評価パーセンテージ合計 100			40							30	30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B		c							a	b
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D		c							a	b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C		c							a	a
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A		a							b	b
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A		a							c	b
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C		a							c	b
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C		a							c	b
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A		a							c	a
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A		a							c	b
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C		a							c	c
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C		c							a	c
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B		a							c	b
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C		a							c	b
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B		a							c	b
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C		c							a	b
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C		a							c	b
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C		b							a	c
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	病理学実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		50			50						
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a			a						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a			a						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a			a						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a			b						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a			b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	衛生・公衆衛生実習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					60					40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				a						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				a						
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B				a						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B				a						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				a						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				a						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B				a						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B				a						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B				a						
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				a						
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				a						

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	法医学実習・演習
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90			10						
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A	a			b						
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	a			b						
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B	a			b						
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A	a			b						
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A	a			b						
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A	a			b						
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B	a			b						
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a			b						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A	a			b						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a			b						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a			b						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a			b						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A	a			b						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a			b						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a			b						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B	a			b						
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A	a			b						
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B	a			b						
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B	a			b						
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a			b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	a			b						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	a			b						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A	a			b						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	a			b						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B	a			b						
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B	a			b						
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	心肺病態制御医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90								10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A	a								b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A	a								b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A	a								b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A	a								b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A	a								b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A	a								b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A	a								b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A	a								b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A	a								b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a								b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a								b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a								b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a								b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a								b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B	a								b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a								b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a								b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a								b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A	a								b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A	a								b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A	a								b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A	a								b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A	a								b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A	a								b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A	a								b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A	a								b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A	a								b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a								b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a								b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a								b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B	a								b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B	a								b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a								b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	生体調節医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C	a									
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	a									
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C	a									
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C	a									
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C	a									
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a									
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	a									
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a									
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	生体防御医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100	80								20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	a								b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	a								b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B	a								b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B	a								b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B	a								b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A	a								b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a								b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a								b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a								b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a								b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a								b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a								b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a								b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	a								b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a								b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a								b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a								b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	a								b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a								b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a								b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a								b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A	a								b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a								b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a								b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	a								b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	消化器医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		80	20								
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a	b								
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a	b								
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a	b								
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a	b								
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a	b								
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a	b								
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a	b								
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B	a	b								
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B	a	b								
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B									c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B	a	b								
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	精神・神経病態医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		70								30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	a								a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	a								a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	a								a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	a								a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C	a								a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a								a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a								a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a								a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a								a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a								a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a								a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a								a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B	a								a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B	a								a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B	a								a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B	a								a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C	a								a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a								a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a								a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	a								a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	a								a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a								a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a								a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	感覚器病態医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	生殖発達医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目									
						1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		80								20	
				100											
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	a								b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B	a								b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B	a								b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B	a								b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B	a								b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A	a								b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a								b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a								b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a								b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a								b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a								b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a								b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a								b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	a								b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a								b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a								b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a								b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	a								b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a								b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	a								b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a								b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A	a								b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	a								b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a								b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	a								b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C	a								b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	a								b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	腫瘍学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	b									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	a									
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	整形外科学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	a									
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a									
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a									
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	a									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	麻酔科学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90								10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	a								c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C	a								a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a								c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a								c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a								c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a								c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a								c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	a								c	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	a								c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C	a								c	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C	a								c	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	a								c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C	a								c	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C	a								c	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C	a								c	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C	a								c	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	a									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	a								c	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C	a								c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C	a								c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	救急医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100	80								20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	c								c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	c								c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	c									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	b									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	b									
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	c									
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	c									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C	c									
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	c									
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C	a									
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C	a									
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	c									
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	c									
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	c									
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	c									
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C	c									
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	症候別・課題別講義
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	b									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	b									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B	a									
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B	a									
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B	a									
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床放射線学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席状況）
				評価パーセンテージ合計		80								10	10
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a								b	c
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B	a								b	c
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a								b	c
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床検査学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		100									
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	a									
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A	a									
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B	a									
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A	a									
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a									
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床薬剤・薬理・治療学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100	75								25	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	c								b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C	c								b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	c								b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C	c								b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A	a								b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A	a								b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A	a								b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	c								b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	c								b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A	a								b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	a								b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	c								b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	c								b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	c								b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C	c								b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C	c								b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C	c								b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	c								b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B	a								b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B	a								b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C	c								b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C	c								b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C	c								b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a								b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a								b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a								b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B	a								b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B	a								b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	c								b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床疫学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		80			10					10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	a			c						
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A	a			b						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	a			c						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	a			b						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a			b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A	a			a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	a			b						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	健康弱者のための医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席）
				評価パーセンテージ合計	100	75									25
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C										a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C										a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	b									
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a									
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	b									
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C	b									
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	リハビリテーション医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席）
				評価パーセンテージ合計 100		70									30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C										a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a									
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	a									
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a									
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	a									
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a									
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a									
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C										a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	a									
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	b									
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C	b									
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	形成外科学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		90								10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C	c								c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C	c								c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C	c								c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B	c								c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D	c								c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C	c								c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B	c								c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C	a								a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C	b								b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	a								a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C	b								b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C	b								b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C	a								a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C	a								a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C	c								c	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C	c								c	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C	c								c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	c								c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D	c								c	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D	c								c	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D	c								c	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C	c								c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D	c								c	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D	c								c	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D	c								c	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D	c								c	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D	c								c	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C	b								b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C	b								b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C	b								b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D	c								c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D	c								c	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D	c								c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D	c								c	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C	c								c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C	c								c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C	c								c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床ゲノム医学
授業形態	講義

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計		30				35				35	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B	c				a				c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A	c				a				c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A	c				a				b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C	c				b				c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A	c				a				c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B	c				c				c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A	c				a				b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B	a				c				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C	b				c				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B	c				b				c	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B	a				b				c	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A	a				a				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B	b				a				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B	b				a				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C	c				c				c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C	c				b				c	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A	b				a				c	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B	b				a				c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A	b				b				c	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A	c				a				b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B	a				a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B	a				a				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B	b				a				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C	c				c				c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C	c				c				c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C	c				b				c	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習序論
授業形態	演習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100							90			10	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B						a			b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B						a			b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B						a			b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C						a			b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B						a			b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B						a			b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B						a			b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C						a			b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C						a			b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B						a			b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C						a			b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A						a			b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C						a			b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A						a			b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B						a			b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B						a			b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C						a			b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C						a			b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C						a			b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(内科(循環器・腎臓内科学分野)、(呼吸器・脳神経内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					25					75	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				b					a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				b					a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				b					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B				b					a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B				b					a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				b					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				b					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B				b					a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				b					a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				b					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				b					a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	D										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				b					a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				b					a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				b					a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				b					a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B				b					a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(内科学講座(内分泌･代謝･膠原病内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席）
				評価パーセンテージ合計											
				100										50	50
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									b	a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									b	a
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A									b	a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B									b	a
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									b	a
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									b	a
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B									b	a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B									b	a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B									b	a
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B									b	a
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B									b	a
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B									b	a
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B									b	a
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B									b	a
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C									b	a
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B									b	a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B									b	a
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C									b	a
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C									b	a
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	D										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B									b	a
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B									b	a
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(内科学講座(消化器内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				40						60	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B			b						a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B			b						a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B			b						a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B			b						a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C			b						a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B			b						a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C			b						a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B			b						a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B			b						a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B			b						a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C			b						a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C			b						a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B			b						a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B			b						a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B			b						a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C			b						a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C			b						a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C			b						a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C			b						a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C			b						a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B			b						a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C			b						a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C			b						a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C			b						a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C			b						a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C			b						a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C			b						a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B			b						a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B			b						a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B			b						a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C			b						a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C			b						a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B			b						a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C			b						a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(内科学講座(血液内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	D										
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C					b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C					b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					a				b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C					a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C					a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C					a				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C					a				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C					a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C					a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（精神医学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				a					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				a					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				a					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				a					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B				a					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				a					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				a					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				c					c	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a					c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a					c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				c					c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C				c					c	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				c					c	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				c					c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				c					c	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				c					c	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				c					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c					c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				c					c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(小児科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計				30						70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B			b						a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B			b						a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			b						a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B			b						a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B			b						a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B			b						a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B			b						a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B			b						a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B			b						a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B			b						a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B			b						a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B			b						a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B			b						a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B			b						a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B			b						a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C			b						a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B			b						a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B			b						a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B			b						a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B			b						a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B			b						a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B			b						a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B			b						a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B			b						a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B			b						a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B			b						a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B			b						a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B			b						a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B			b						a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B			b						a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(外科学講座(血管･呼吸･腫瘍病態外科学分野、心臓大血管外科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					30	10		20	10	30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				c	b		b	b	a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				c	a		b	b	b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				b	a		b	b	b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				c	b		b	b	b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B				c	c		b	c	a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				c	c		b	c	a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				a	a		c	c	b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A				a	a		b	b	c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A				a	a		b	c	c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				a	a		b	c	c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				a	a		b	c	c	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a	a		b	c	c	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a	a		c	b	c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a	b		b	c	c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				a	c		b	b	c	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D				a	c		b	b	c	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				a	c		b	b	a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				a	c		b	b	a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A				a	a		b	c	a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a	a		b	b	a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				c	a		b	c	a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a	a		b	c	c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D				a	a		b	c	c	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A				b	a		b	c	b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B				c	a		b	b	c	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				a	b		b	b	c	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				a	b		b	b	c	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				b	a		b	b	c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a	b		b	c	b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				a	b		b	c	b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D				a	b		b	c	b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D				a	b		b	c	b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				b	a		b	c	b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				b	a		b	c	b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				b	a		b	c	b	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				b	a		b	c	b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D				b	a		b	c	b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(外科学講座(肝胆膵･移植外科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				a					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				a					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				a					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				a					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				a					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				a					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				a					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a					a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a					a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B				a					a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a					a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B				a					a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C				a					a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				a					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				a					a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C				b					b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				b					b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				b					b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				b					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				b					b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				b					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				b					b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				b					b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				b					b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				a					a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a					a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				a					a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				a					a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B				a					a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				b					b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				b					b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				b					b	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				b					b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				b					b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(産婦人科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B									b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B									b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B									b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B									b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				c						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B				b						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a						
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				b						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				c						
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C				c						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				c					c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				c						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				c						
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				c						
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				b						
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				c						
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				c						
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				c						
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				c						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				c						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				c						
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				c						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				c						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				c						

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（整形外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					80					20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				a					b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				a					b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				a					b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C				a					b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				a					b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				a					b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a					b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a					b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a					b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a					b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				a					b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a					b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a					b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a					b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				a					b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				a					b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C				a					b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				a					b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				a					b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				a					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				a					b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				a					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				a					b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				a					b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				a					b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（皮膚科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				30	40					30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B			b	b					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B			b	b					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B			b	b					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C			b	b					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C			b	b					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C			b	b					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C			b	a					b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C			a	b					b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C			a	b					b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B			a	b					b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D			b	a					b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C			b	a					b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B			a	b					b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C			a	b					b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C			c	c					a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C			c	c					a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B			c	a					b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D			c	c					a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			c	c					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B			c	c					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C			c	c					a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C			c	c					a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C			c	c					a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B			a	b					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D			c	c					a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C			c	c					a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C			c	c					a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C			b	a					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C			b	a					c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C			b	a					c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C			b	a					c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C			b	a					c	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D			c	c					c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C			c	c					a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C			c	c					a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C			c	a					b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D			c	a					b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(腎泌尿器外科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（実技・技術）
				評価パーセンテージ合計											
				100					20					50	30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A				b					b	a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				c					b	a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				c					c	b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				c					c	b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				b					c	c
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				b					c	c
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				b					c	c
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				b					c	c
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a					c	b
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a					c	b
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				a					c	a
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				b					b	b
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				b					b	b
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				c					c	a
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				b					c	c
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c					c	c
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				b					c	c
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C				b					c	b
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ(眼科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A									a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A									b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				c						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A				c						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				b						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A				b						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A				b						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a						
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				b						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				b						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				b						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a						
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a						
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				a						
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a						
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C					c				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C					c				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B					b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C					c				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C					c				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C					c				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					a				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					a				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					a				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					a				a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					a				a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					a				a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B					a				a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B					a				a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					a				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					a				a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A					a				a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A					c				a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A					c				a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A					c				a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A					a				a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					a				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A					c				a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A					c				a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A					b				a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					a				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B					a				a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					b				a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C					b				a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B					b				a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C					b				a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習I(放射線医学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席、知識）
				評価パーセンテージ合計											
				100										60	40
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									a	b
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									a	b
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									a	b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									a	b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B									a	b
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A									b	a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B									b	a
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A									b	a
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B									b	a
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B									a	b
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A									a	b
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C									a	b
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C									a	b
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C									a	b
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C									a	b
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C									a	b
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C									a	b
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B									a	b
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（麻酔・蘇生学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試問・レポート	4 知識	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席）
				評価パーセンテージ合計 100				30	30					30	10
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			c	c					a	c
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			c	c					a	c
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			b	b					a	b
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			c	c					a	c
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			c	c					a	c
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			c	c					a	c
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A			c	c					a	c
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			a	a					c	c
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			a	a					c	c
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B			b	b					c	c
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			a	a					c	c
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			a	a					c	c
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B			b	b					c	c
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			a	b					a	c
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C			c	b					c	c
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C			c	b					c	c
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B			b	a					c	c
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A			a	a					c	c
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			a	b					b	c
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C			c	b					b	c
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B			b	b					c	c
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B			b	b					c	c
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B			b	b					c	c
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C			c	b					c	c
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C			c	b					c	c
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C			c	b					c	c
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C			c	b					b	c
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C			c	b					c	c
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（脳神経外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				40	20			20		20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			b	c			b		a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			b	c			b		a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			b	c			b		a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			b	c			b		a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			b	c			b		a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			b	c			b		a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A			b	c			b		a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			b	c			b		a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			b	c			b		a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			b	c			b		a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A			b	c			b		a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			b	c			b		a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A			b	c			b		a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			b	c			b		a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A			b	c			b		a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A			b	c			b		a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A			b	c			b		a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			b	c			b		a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			b	c			b		a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A			b	c			b		a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A			b	c			b		a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A			b	c			b		a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A			b	c			b		a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A			b	c			b		a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A			b	c			b		a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	A			b	c			b		a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A			b	c			b		a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（歯科口腔外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				30					70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A				b					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				b					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				b					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				b					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				b					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A				b					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a					b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a					b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				a					b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				a					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				a					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a					b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（救急医学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				20	20	20	20			20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C			a	a	a	a				
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C			a	a	a	a				
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C			a	a	a	a				
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C			b	b	b	b				
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C			c	c	c	c				
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C			a	a	a	a				
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C			a	a	a	a				
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C									b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C									c	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C						a				
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C			a	a	a					
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C			a	a	a					
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C			a	a	a					
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C			a	a	a					
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C						b			b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C			b							
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C			b							
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C			b							
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C			b							
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C			b							
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C			b							
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C			b							
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C			b							
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C			b							
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C			b							

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習I（総合診療部）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100		70							30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A		b							a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A		a							a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A		a							a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A									a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A		a							a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（病理部）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					25	25				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				a	b				b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				a	b				b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				b	b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a	b				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a	b				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a	b				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a	b				b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a	b				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a	b				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a	b					
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a	b					
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				b	a					
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				a	b					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a	b					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a	b					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（リハビリテーション科）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席・態度）
				評価パーセンテージ合計											
				100					70						30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B										a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B										a
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B										a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B										b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B										c
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a						a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				b						c
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B										c
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B										c
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C										
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				a						
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C										
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				c						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				c						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅰ（形成・再建外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100					25	25				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				b	b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				b	b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				a	a				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A				b	b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A				c	c				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				c	c				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a	a				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				b	b				c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				b	b				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				b	b				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				b	b				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				b	b				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				b	b				c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B				c	c				b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				c	c				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A				c	c				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A				a	a				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B				c	c				b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A				c	c				c	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				c	c				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				c	c				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				c	c				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				c	c				c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B				c	c				c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B				c	c				c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(内科学講座(循環器・腎臓内科学分野、呼吸器・脳神経内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					25					75	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				b					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				b					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				b					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				b					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B				b					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任・規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				b					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				b					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				b					a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				b					a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				b					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B				b					a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B				b					a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				b					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				b					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B				b					a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				b					a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				b					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				b					a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				b					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				b					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B				b					a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				b					a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				b					a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				b					a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B				b					a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B				b					a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B				b					a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				b					a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				b					a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				b					a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				b					a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B				b					a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B				b					a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B				b					a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B				b					a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B				b					a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B				b					a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(内科学講座(内分泌･代謝･膠原病内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（知識の修得度）
				評価パーセンテージ合計 100						30				40	30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A					b				a	b
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A					b				a	b
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A					b				a	b
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A					b				a	b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A					b				a	b
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A					b				a	b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					b				a	b
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					b				a	b
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					b				a	b
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					b				a	b
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					b				a	b
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					b				a	b
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					b				a	b
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					b				a	b
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B					b				a	b
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					b				a	b
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					b				a	b
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B					b				a	b
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B					b				a	b
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A					b				a	b
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A					b				a	b
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A					b				a	b
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					b				a	b
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C					b				a	b
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B					b				a	b
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B					b				a	b
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	b
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					b				a	b
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B					b				a	b
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B					b				a	b
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B					b				a	b
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B					b				a	b
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B					b				a	b

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(内科学講座(消化器内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100			10	25	25				40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			c	b	b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			c	b	b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			c	b	b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			c	b	b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			c	b	b				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			c	b	b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B			c	b	b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			c	b	b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			c	b	b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			c	b	b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B			c	b	b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B			c	b	b				a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			c	b	b				a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			c	b	b				a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B			c	b	b				a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B			c	b	b				a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B			c	b	b				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B			c	b	b				a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			c	b	b				a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A			c	b	b				a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A			c	b	b				a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			c	b	b				a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B			c	b	b				a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B			c	b	b				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B			c	b	b				a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B			c	b	b				a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B			c	b	b				a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			c	b	b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			c	b	b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B			c	b	b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B			c	b	b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B			c	b	b				a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A			c	b	b				a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B			c	b	b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(内科学講座(血液内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					40	40				20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				c	b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				b	b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				c	c				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C				c	c				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				a	b				b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C				a	a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C				a	a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	C				a	a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a	a				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				a	a				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				a	a				b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a	b				c	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				b	a				c	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				b	a				c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				b	a				c	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				b	a				c	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a	a				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a	a				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				b	b				a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				a	b				c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ（精神医学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				a					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				a					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				a					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				a					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B				a					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				a					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				a					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				c					c	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				c					c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B				a					a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a					a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a					a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				a					a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				c					c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c					c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				c					c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ（小児科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				30	20					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			b	c					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			b	c					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			b	c					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			b	c					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			b	c					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			b	c					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A			b	c					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			c	b					a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			c	b					a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			c	b					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B			c	b					a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B			c	b					a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			c	b					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			c	b					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A			c	b					a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B			c	b					a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			c	b					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B			c	b					a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			b	c					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A			b	c					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A			b	c					a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			b	c					a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A			b	c					a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			b	c					a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B			b	c					a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A			b	c					a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A			b	c					a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			c	b					a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			c	b					a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A			c	b					a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A			c	b					a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B			c	b					a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B			c	b					a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B			c	b					a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B			c	b					a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B			c	b					a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B			c	b					a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(外科学講座(血管･呼吸･腫瘍病態外科学分野)、(心臓大血管外科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100									100	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B									a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B									a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B									a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B									a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B									a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B									a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B									a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B									a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B									a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B									a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C									a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(外科学講座(肝胆膵・移植外科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席日数）
				評価パーセンテージ合計											
				100						40				30	30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					a				a	a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B					a				a	a
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					a				a	a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B					a				a	a
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B					a				a	a
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					a				a	a
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					a				a	a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					a				a	a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					a				a	a
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					a				a	a
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					a				a	a
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					a				a	a
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					a				a	a
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					a				a	a
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B					a				a	a
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B					a				a	a
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					a				a	a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					a				a	a
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B					a				a	a
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B					a				a	a
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B					a				a	a
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B					a				a	a
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B					a				a	a
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B					a				a	a
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B					a				a	a
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B					a				a	a
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B					a				a	a
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					a				a	a
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					a				a	a
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B					a				a	a
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B					a				a	a
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B					a				a	a
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					b				b	b
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C					b				b	b
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C					b				b	b
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C					b				b	b
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					b				b	b

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ(産婦人科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					30		30			40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A						a			a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A						a			a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A						a			a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A						a			a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A						a			b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A						b			b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A						b			b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A				a		b				
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A				a		b				
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				a		b				
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B				c						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A				b		c				
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a		b				
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				b		b				
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B				c						
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				c						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A				c					c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				c						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A				a		a				
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A				b		a				
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A						a				
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a		b				
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				b		c				
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				a		a				
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B						b				
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B				c		c				
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B				c						
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				b						
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				c						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				c						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				c						
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B				c						
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B				c						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B				c						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B				c						

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅱ（地域医療実習）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					50					50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A				b					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				a					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A				a						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A				a						
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A				a						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A				a						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A				a						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A				a					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A				a					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A				a					a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				a					a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A									a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A				a						
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A									a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D									a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A				a						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A				a						
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A				a						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A				a						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A				a						
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	A				a						
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(内科学講座(循環器・腎臓内科学分野)、(呼吸器・脳神経内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100				20		50				30	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			b		a				b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			b		a				b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			b		a				b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			b		a				b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			b		a				b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任・規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			b		a				b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A			b		a				b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			b		a				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			b		a				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			b		a				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A			b		a				b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A			b		a				b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			b		a				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			b		a				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A			b		a				b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A			b		a				b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			b		a				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A			b		a				b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			b		a				b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A			b		a				b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A			b		a				b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			b		a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A			b		a				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			b		a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A			b		a				b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A			b		a				b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A			b		a				b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			b		a				b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			b		a				b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A			b		a				b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A			b		a				b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A			b		a				b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A			b		a				b	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A			b		a				b	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A			b		a				b	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	A			b		a				b	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A			b		a				b	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(内科学講座(内分泌･代謝･膠原病内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A					b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A					b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A					b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A					b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A					b				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A					b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					b				a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					b				a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					b				a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B					b				a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B					b				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B					b				a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A					b				a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A					b				a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A					b				a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					b				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C					b				a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B					b				a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B					b				a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B					b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B					b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B					b				a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B					b				a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B					b				a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B					b				a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B					b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（内科学講座(消化器内科学分野)）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100			20		30				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			c		b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			c		b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			c		b				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			c		b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			c		b				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			c		b				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B			c		b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			c		b				a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			c		b				a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			c		b				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B			c		b				a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A			c		b				a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			c		b				a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			c		b				a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A			c		b				a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A			c		b				a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			c		b				a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A			c		b				a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			c		b				a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A			c		b				a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A			c		b				a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			c		b				a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B			c		b				a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			c		b				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B			c		b				a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A			c		b				a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A			c		b				a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			c		b				a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			c		b				a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B			c		b				a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A			c		b				a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B			c		b				a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A			c		b				a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B			c		b				a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習 III (内科学講座(血液内科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					40	40				20	
I 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				b	b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				b	b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				c	c				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				c	c				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				c	c				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				c	c				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				c	b				a	
II 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a	a					
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a	a				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a	a				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				a	b				c	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a	a				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a	a				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				a	a				c	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				a	b				b	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
III 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a	a				b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a	a				b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				c	c				a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a	a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a	a				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				a	a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				c	c				a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				c	c				a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				c	c				a	
IV 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				a	a				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a	a				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a	a				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C				a	a				c	
V 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				c	c				a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B				a	a				c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（精神医学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100						50				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A					c				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A					c				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A					c				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A					c				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A					c				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A					c				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A					c				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A					c				a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B					c				b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B					c				b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B					c				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B					c				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B					c				b	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A					a				b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A					a				b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A					a				b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A					a				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A					a				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					a				b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C					c				c	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B					b				b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					a				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					a				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					a				c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C					c				c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C					c				c	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C					c				c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C					c				c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C					c				c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（小児科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				25						75	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			b						a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			b						a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			b						a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			b						a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			b						a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			b						a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A			b						a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			b						a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			b						a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			b						a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B			b						a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A			b						a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			b						a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			b						a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A			b						a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B			b						a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			b						a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B			b						a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			b						a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A			b						a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A			b						a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			b						a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A			b						a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			b						a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B			b						a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A			b						a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A			b						a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			b						a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			b						a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A			b						a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A			b						a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B			b						a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B			b						a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B			b						a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B			b						a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B			b						a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B			b						a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(外科学講座(血管･呼吸･腫瘍病態外科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100										100	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A									a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A									a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B									a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B									a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A									a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B									a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B									a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B									a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B									a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B									a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	B									a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(外科学講座(心臓大血管外科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（担当患者プレゼンテーション）
				評価パーセンテージ合計											
				100						10		10		50	30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B					c		c		a	b
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B					c		c		a	b
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B					c		c		a	b
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B					c		c		a	b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	B					c		c		a	b
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B					c		c		a	b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B					c		c		a	b
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B					b		c		b	a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B					b		c		b	a
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B					b		c		b	a
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A					b		c		b	a
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A					b		c		b	a
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A					b		c		b	a
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A					b		c		b	a
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A					b		c		b	a
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A					b		c		b	a
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A					b		c		b	a
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A					b		c		b	a
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A					c		c		a	b
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A					c		c		a	b
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A					c		c		a	b
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A					c		c		a	b
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A					c		c		a	b
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					c		c		b	a
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A					c		c		b	a
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A					c		c		a	b
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A					c		c		a	b
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					c		c		a	c
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					c		c		a	c
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					c		c		a	c
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					c		c		a	c
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					c		c		a	c
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A					c		c		a	c
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A					c		c		a	c
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A					c		c		a	c
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	A					c		c		a	c
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A					c		c		a	c

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(外科学講座(肝胆膵･移植外科学分野))
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100							50		50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B							a		a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B							a		a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B							a		a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B							a		a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C							a		a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A							a		a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B							a		a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B							a		a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B							a		a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B							a		a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C							a		a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C							a		a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B							a		a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B							a		a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B							a		a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C							a		a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C							a		a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C							a		a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B							a		a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B							a		a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B							a		a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B							a		a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B							a		a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B							a		a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B							a		a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C							a		a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B							a		a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B							a		a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B							a		a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B							a		a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B							a		a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B							a		a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C							a		a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C							a		a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C							a		a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C							a		a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C							a		a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(産婦人科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計 100						30	30			40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A						a			a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A						a			a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A						a			a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A						a			a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A						a			b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A						b			b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A						b			b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A					b	b				
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A					b	b				
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A					b	b				
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A					c					
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A					c	c				
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A					b	b				
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A					b	b				
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A					c					
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A					c					
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A					c				c	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A					c					
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A					a	a				
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A					c	a				
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A						a				
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A					a	b				
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A					b	c				
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A					a	a				
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A						b				
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A					c	c				
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A					c					
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A					b					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A					a					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A					c					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A					c					
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A					c					
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A					c					
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A					c					
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A					c					

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(整形外科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					80					20	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				a					b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				a					b	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				a					b	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C				a					b	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				a					b	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				a					b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a					b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a					b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a					b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a					b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				a					b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a					b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a					b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a					b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				a					b	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	C				a					b	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C				a					b	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C				a					b	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C				a					b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				a					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C				a					b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				a					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C				a					b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C				a					b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C				a					b	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C				a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（皮膚科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				50						50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B			b						a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B			b						a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B			b						a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C			b						a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C			b						a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C			b						a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C			b						a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	C			a						b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	C			a						b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B			a						b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D			a						b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C			a						b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B			a						b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C			a						b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C			b						a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	C			b						a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B			b						a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D			b						a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			b						a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B			b						a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	C			b						a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C			b						a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C			b						a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B			a						b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D			b						a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	C			b						a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C			b						a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C			a						b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C			a						b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C			a						b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C			a						b	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C			a						b	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D			c						c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C			b						a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C			b						a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C			b						a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D			a						c	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（腎泌尿器外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（プレゼンテーション）
				評価パーセンテージ合計											
				100										60	40
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									b	a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									b	a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A									b	a
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									c	b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B									c	b
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B									c	b
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B									c	b
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B									c	b
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A									b	a
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A									b	a
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B									b	a
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B									b	a
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B									b	a
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B									b	a
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C									c	c
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B									c	a
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B									c	b
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B									c	b
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B									c	a
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C									b	c
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C									b	c
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(眼科学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				30					70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A									a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A									a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A									a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A									b	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				c						
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A				c						
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				b						
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A				b						
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A				b						
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a						
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a						
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				b						
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C				b						
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				b						
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a						
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a						
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				a						
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a						
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				25					75	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A				c					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A				c					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A				c					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A				c					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A				c					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A				c					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A				c					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a					a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a					a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B				a					a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	B				a					a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B				a					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	B				a					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	B				a					a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	B				a					a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				a					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				a					a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A				a					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A				c					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A				c					a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				c					a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A				a					a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A				c					a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A				c					a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A				c					a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A				c					a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A				a					a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A				a					a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A				a					a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				a					a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	B				a					a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				c					a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				c					a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B				c					a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				c					a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C				b					a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ(放射線医学講座)
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席、知識）
				評価パーセンテージ合計											
				100		0	0	0	0	0	0	0	0	60	40
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									a	b
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									a	b
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									a	b
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									a	b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B									a	b
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A									b	a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B									b	a
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A									b	a
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	B									b	a
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	B									a	b
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A									a	b
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	C									a	b
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C									a	b
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B									a	b
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C									a	b
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C									a	b
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	C									a	b
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B									a	b
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B									a	b
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（麻酔・蘇生学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				30					70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A				b					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A				b					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A				b					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A				b					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A				b					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A				b					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A				b					a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A				a					a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a					b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				a					a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	C				c					b	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				b					b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				a					a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a					a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	C				b					c	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A				a					c	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	B				a					a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A				a					c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A				a					a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A				a					a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B				c					c	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				b					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A				a					a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A				a					a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	B				a					b	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B				a					b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B				a					a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				a					b	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a					b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				a					b	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				b					c	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				b					c	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				b					c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C				b					c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（脳神経外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				12.5				12.5		75	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A			c				b		a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A			c				b		a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A			c				b		a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A			c				b		a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A			c				b		a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A			c				b		a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A			c				b		a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A			c				b		a	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A			c				b		a	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A			c				b		a	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A			c				b		a	
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A			c				b		a	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A			c				b		a	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A			c				b		a	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A			c				b		a	
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A			c				b		a	
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A			c				b		a	
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A			c				b		a	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A			c				b		a	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	A			c				b		a	
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A			c				b		a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A			c				b		a	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A			c				b		a	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A			c				b		a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	A			c				b		a	
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	A			c				b		a	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A			c				b		a	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	A			c				b		a	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	A			c				b		a	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	A			c				b		a	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	A			c				b		a	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	A			c				b		a	
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	A			c				b		a	
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	A			c				b		a	
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	A			c				b		a	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	A			c				b		a	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	A			c				b		a	

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（歯科口腔外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				30					70	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A				b					a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C				b					a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	B				b					a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	B				b					a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C				b					a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A				b					a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a					b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a					b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	C				a					b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	C				a					b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C				a					b	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				a					b	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例
A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（救急医学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100				20	20	20				40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C									c	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C									c	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	C									c	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	C									c	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C									c	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C									c	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	D										
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	D										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	C			b	b	b					
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	C			c							
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B			b							
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B			b	a	a					
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	C			b	a	a					
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	C			a							
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	C			b	b	b					
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	B			c	c	c					
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	B			c	c	c					
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B			c	c	c					
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B			c	c	c					
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（総合診療部）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				30	20				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A									a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A									a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	D										
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	D										
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	D										
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	D										
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A				a	a				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	D										
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a	a				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	A				a	c				c	
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	A									a	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				a	a				c	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	D										
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A									a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	D										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	D										
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（病理部）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計	100				25	25				50	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	B				a	b				b	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	D										
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	D										
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	D										
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	D										
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	B				a	b				b	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	B				b	b				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				a	b				b	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				a	b				b	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				a	b				b	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	C				a	b				b	
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	C				a	b				b	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				a	b				b	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	D										
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	D										
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				a	b					
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a	b					
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				b	a					
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	D										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	D										
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				a	b					
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				a	b					
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	C				a	b					
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	C										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	C										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	D										
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	D										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる
B：臨床実習を開始するための能力を習得している
C：医学生として基盤となる能力を習得している
D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（リハビリテーション科）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（出席・態度）
				評価パーセンテージ合計	100				70						30
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム<態度>	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	A										a
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	A										a
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	A										a
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A										a
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A										b
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	A										b
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	A										a
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力<知識>	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	A										a
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	A										b
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	A										b
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	A										c
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	A										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A										b
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A										
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	A										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	A										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	A										b
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	A										c
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力<技能>	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	B				a						
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	B				a						
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B				b						
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	B				b						
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	B				a						
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	B				b						
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B										
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	B				c						
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心<思考・判断>	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	C										
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	C				c						
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	D										
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	D										
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力<意欲・関心>	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	C				c						
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	C				c						
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	C				c						
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	C										
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	C										

医学科2024カリキュラムにおけるアセスメントマップ

カリキュラムマップ達成レベル凡例

A：臨床実習に模範的に関与・行動できる

B：臨床実習を開始するための能力を習得している

C：医学生として基盤となる能力を習得している

D：経験修得する機会がない

科目名	臨床実習Ⅲ（形成・再建外科学講座）
授業形態	実習

					カリキュラム・マップ	アセスメント・マップ 評価項目 1 定期試験：筆記試験	2 小テスト：筆記試験	3 口頭試験	4 レポート	5 成果発表	6 OSCE	7 同僚評価	8 自己評価	9 履修態度	10 その他（その他の場合評価形式を記載）
				評価パーセンテージ合計											
				100					30	30				40	
Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム ＜態度＞	生命の尊厳を尊重し、医の倫理を理解し、チーム医療に基づいた医療を実践できるための態度を身につけている。	1	生命の尊厳	患者のプライバシーや生命の尊厳に配慮した治療を行うための態度を身に付けている	C				b	b				a	
		2	患者の人格の尊重、利他主義	患者や患者家族の多様な社会的背景（性、文化、経済、教育、家庭など）に対し共感的、利他的な姿勢で臨むことができる。	B				b	b				a	
		3	真摯さと誠実さ	患者や患者家族、同僚、関係する医療者に対して真摯で誠実な姿勢で臨むことができる。	C				a	a				a	
		4	チーム医療	多職種にわたる医療・福祉関係者及び自己の役割を理解し、同僚に対して尊敬の念を持ち専門職連携を実践できる。	A				b	b				a	
		5	説明責任	自己の義務と責任を理解し、自らの行動を適切に説明することの重要性を自覚している。	A				c	c				a	
		6	法令順守、倫理原則	法的責任･規範を遵守し、倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動できる。	C				c	c				a	
		7	向上心	自己のキャリアをデザインし、目標の達成へ向けて努力を続けるとともに、常に自らの向上をはかる必要性と方法を理解し実践できる。	C				a	a				a	
Ⅱ 医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力 ＜知識＞	幅広い教養と基礎医学、臨床医学、社会医学の基本的知識を有し、それに基づいた医療を実践するために、生涯にわたる学習の必要性とその方法を説明できる。	1	正常構造と機能	正常な構造と機能、恒常性の維持に関わる包括的な知識を備えている。	B				b	b				c	
		2	発生、発達、加齢、死	生体と主要臓器の発生、発達、成長、加齢、死に伴う構造的・機能的変化について体系的な知識を備えている。	B				b	b				c	
		3	病気の発生機序と特徴	様々な疾患における主要臓器の構造的・機能的変化とそれらの全身的影響及び自然経過について体系的に理解している。	B				b	b				c	
		4	臨床疫学	臨床疫学や医学統計についての十分な知識を備えている。	D										
		5	予防医学	頻度の高い病気について、これらの発生率を減少させるための統合的なアプローチに関する知識を備えている。	D										
		6	治療	頻度の高い疾病の治療の種類、それらの効果及び適応に関する知識を備えている。	A				b	b				c	
		7	診断	頻度の高い疾病の診断と治療における必要な検査を選択し結果を正しく解釈できる。	A				b	b				c	
		8	緩和ケア	緩和ケアを治療と並行して行うための知識を備えている。	D										
		9	保健・医療・福祉制度	保健・医療・福祉制度に関わる各種法律について理解し、医師の報告義務などに関して知識を備えている。	D										
		10	生涯学習	生涯学習の必要性を理解し、適切な学習方法を選択し実践できる。	D										
		11	医療社会学的側面	健康状態に影響を与える経済学的、社会学的、心理学的、文化的因子についての知識を備えている。	B				b	b				c	
Ⅲ 全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力 ＜技能＞	豊かな人間性を持って患者、患者家族と接することができる。患者の意思を尊重した適切な健康増進を図ることができるとともに医療を提供するための基本的診察能力を身につけている。急性もしくは慢性の健康問題について診断と治療の原則を理解し、安全性を配慮した上で計画できる。	1	病歴作成	正確で必要十分な内容を含む病歴を作成する技能を備えている。	D										
		2	医療情報管理	必要な医学的情報を漏れなく収集し、診療録に適切に記載し、管理できる。	D										
		3	基本的診療手技	基本的な診療手技の技能を習得している。	B				c	c				b	
		4	臨床推論	正しい臨床推論技能を習得しており、実際の症例に応用できる。	A				c	c				b	
		5	治療計画	頻度の高い疾患に対して適切な治療計画（リハビリテーションを含む）を構築できる。	A				c	c				b	
		6	情報伝達、プレゼンテーション	口頭及び文書により医療従事者との間で、正確で効果的な情報交換ができる。	A				a	a				a	
		7	集中治療、救急医療	患者の状態が重篤な状態かを識別し、救急医療に参加し、集中治療の初期治療を計画できる	D										
		8	意思決定支援	患者の意向を尊重し医学的な判断を加味したバランスのとれた意思決定の支援に参加できる。	B				c	c				b	
		9	医療安全	医療安全や副作用などに関する最新の情報に基づく安全な医療を提供できる。	A				c	c				c	
Ⅳ 問題解決能力、発展的診療能力、研究心 ＜思考・判断＞	基礎医学・臨床医学・社会医学領域における研究の意義を理解し、科学的情報を収集し評価するとともに、批判的思考を持って診療に応用することができる。また、新たな情報を生み出すために倫理原則に基づいた論理的研究計画を立案できる。	1	科学的実証力	医学的発見の基盤となる科学的方法と理論に関する十分な知識を備えている。	B				c	c				c	
		2	批判的観察力	医学文献を批判的に読み、エビデンスに基づいた研究や医療を遂行する能力を備えている。	B				c	c				c	
		3	科学的問題解決能力	基礎医学・臨床医学・社会医学の領域における未解決の問題を認識し、仮説を立て、科学的に検証する方法を知っている。	B				c	c				c	
		4	研究における倫理	基礎研究及び臨床研究における基本的な倫理的規範を理解している。	B				c	c				c	
		5	臨床試験・治験の推進	臨床試験・治験に関わる基本原則についての十分な知識を備え、トランスレーショナル研究を理解している。	D										
Ⅴ 地域社会・国際社会へ貢献するための能力 ＜意欲・関心＞	医療に対する社会的ニーズを踏まえ、医療の実践、研究を通じて地域社会及び国際社会に貢献する必要性とその方法を説明できる。	1	社会システムの理解	医療・保健・福祉を支える社会システムについて説明できる。	D										
		2	医療資源配分	医療資源の配分だけでなく、有効活用について説明できる。	D										
		3	地域医療	地域医療に貢献することの意義を理解し地域医療に参加できる。	B				c	c				c	
		4	地域診断	地域社会における医療的問題点を抽出・評価し解決する方法を説明できる。	B				c	c				c	
		5	国際性	グローバル・コミュニケーションの重要性を理解し、英語により医学医療情報を入手するとともに自ら発信できる。	D										